

## 橋梁点検の結果

### (1) 点検実施橋梁

平成21年度に実施した橋梁点検の66橋を橋種別等の集計表(図-1)に示す。

○ 橋長は2～15mの割合が8割強を占めており、15m以上は1割強となる。

○ 橋種は鋼橋が全体の1割弱、コンクリート橋9割強となっている。

(平成22年3月現在)

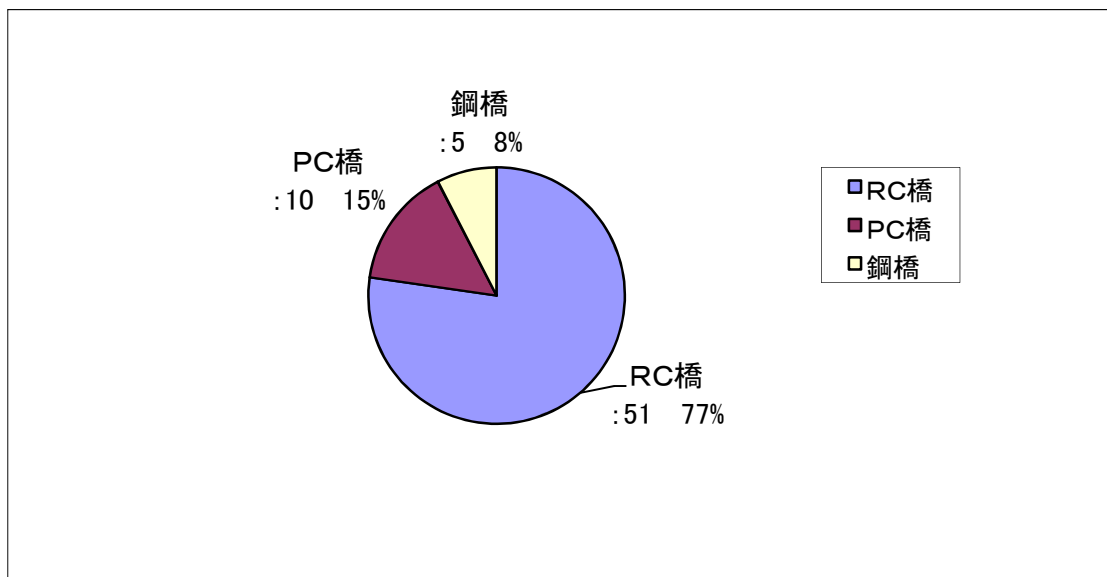
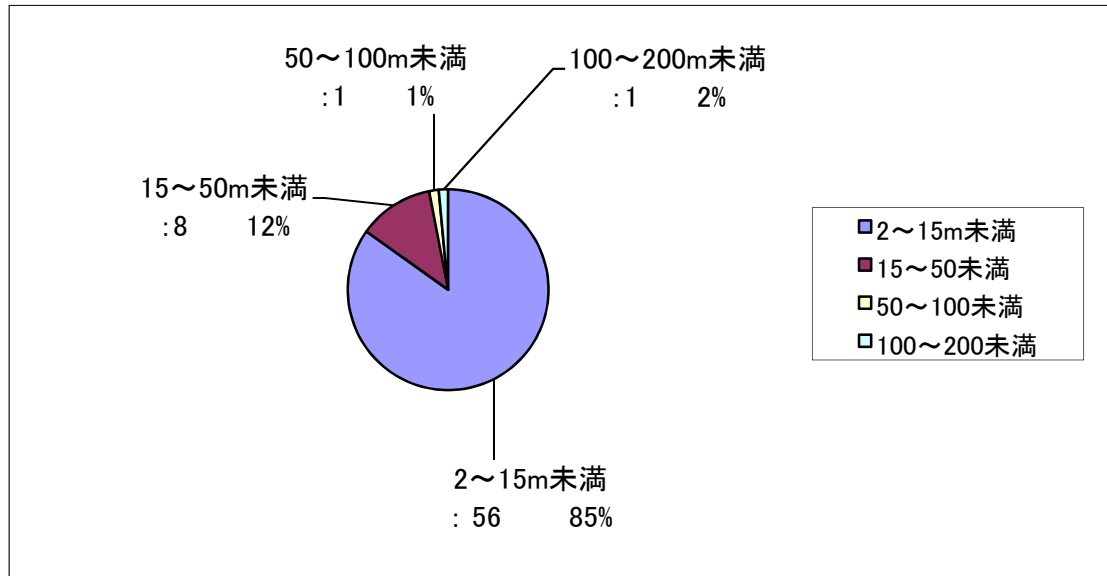


図-1 平成21年度点検橋梁の内訳

※1 RC橋とは現場打ち鉄筋コンクリート桁である。

※2 PC橋とはコンクリート桁内にPC鋼材を緊張し、あらかじめ圧縮力(プレストレス)を作用させた桁であり、主に工場製作のものが多い。

## (2) 損傷状況

平成21年度点検橋梁の損傷については以下の傾向がみられる。

- 橋梁主構造(上部工、下部工)で損傷度が高い橋梁が半数近くで見受けられる。  
(全橋梁66橋中、損傷度が高い橋梁が31橋梁 割合47%)
- 路面のクラック、凹凸及び高欄、防護柵で損傷度が高い橋梁が1/5近くで見受けられた。  
(全橋梁66橋中、損傷度が高い橋梁が14橋梁 割合21%)

### 1 損傷状況



支承の機能障害



主桁腐食



鉄筋露出



裏面の凹凸